

たなべ典礼ファミリーホール

智の会通信

2010
夏号
vol.44

発行 総合葬祭
たなべ典礼
代表取締役 田辺紀夫
栃木県佐野市大祝町2391
電話: 0283-22-1507
fax: 0283-22-1590

梅雨明けしたとたんに、いきなり猛暑。本格的な夏の始まりとはい、体調がついていきません。皆さんはいかがお過ごですか?ちょうど一年の半分が終わりました。この時期、やはり全国的な供養慣例として盆行事や祭りが行なわれます。子供たちにとっては、夏休みも「待ち焦がれる」楽しみとしてあります。今ではすっかりレジャー中心の帰省でもありますが、そのもとはご先祖様へのお墓参り。田舎では都会に出た人たちとの再会を「心待ち」にしています。

日本人の感性や情緒はこの「待つ」ことから始まつたのではないでしようか。少なくとも万葉や古い歌集の多くは、恋愛のみならず、つねに何かを「待つ」気持ちの機微を表したものが多いように思います。まさに巡る季節は前倒しにすることなど出来ません。四季の繰り返しから、私たち日本人はいつも「待つ」ことだけが、時の過ごし

も「待つ」ことだけが、時の過ごし

も「待つ」ことだけが、時の過ごし

も「待つ」ことだけが、時の過ごし

季節の代表的な景観や収穫を私は「旬」と呼び、そのときだけのも

のとして珍重し大切にしてきました。いまこの「旬」は何處へ行つてしまつたのでしょうか?

特に食物では、栽培や保存などの技術で、もはや旬はありません。これは本当にいことなかどうか?初ものを尊ぶあまり、どうも待ちきれずにフライングしているようになります。

この「待つ」という行為が、いま失われています。

携帯電話やメールの普及は、相手を「待たせません」。いつでもリアルタイムで連絡がつくことで、不用意に待たせたり、待たされたりすることをいつの間にか社会のルール違反としてきました。確かに心配されるなどの余計な不安を抱かせまいとする配慮は大事なことです。あまりに傍若無人になされるのも考えものです。そのため、「待てない」社会が出現しました。

待つことができない社会



待てない社会では、なにもかもが「先走りの連鎖」になります。前しか向いていない、同時に今を大切にしない社会だとも言えます。

「先手必勝社会」です。これが受験競争や学歴社会の原動で、経済の発展を中心とした右肩上がりの状況下で私たちはまい進してきました。ここでは、過去を顧みるなどはなされようがありません。



予約受付中

恒例のお盆セール実施中!

- 盆ちょうちん ○ 盆花 ○ 線香 ○ ローソク
- 花立 ○ 手桶 ○ 盆用品各種



※仏具各種サービス価格にて取扱中

セール会場
たなべ典礼本店（大祝町）

是非ご来店ください。

ただいま実施中～8月16日まで開催！

ファミリーホールのたなべ典礼

- 年中無休／24時間受付
- 事前のご相談がなによりの安心。

駐車場拡大しました！

詳しくは たなべ典礼「智の会」事務局まで…

電話 0283-22-1507

お申込みは、いつでも受け付けます
入会金・年会費無料

与論島の「がん」(龕)

鹿児島の最南端、与論島では数年前に火葬場が出来た。それまでは土葬。そのため風土の慣習が大きく変わろうとしている。既に通常の墓石墓地も見られるが、おもにお墓は海岸の砂浜などの一部分にしつらえられていることが多い。これは土葬時代を考えれば、砂地で埋めやすく、また「掘り返し」をし易いからだという。

特徴的なのは、埋めた棺の上に小さな木製の小屋(写真)を建て、これを「龕(がん)」と呼び、中に、野位牌や香炉、お神酒などの供物が置かれ、周りには故人生前の靴などの愛用品が置かれる。

そうして、3年から5年で改葬、つまり掘り起こして洗骨し、骨壺に納める。(写真)



以後、何年かごとに「洗骨」を繰り返すと、その都度、遺骨の分量も減り、やがて33年目には遺骨はこれまでの先祖と一緒にしてしまう。そのようなことがあるので、骨壺は全部埋めてしまわない。

いま町営の火葬場が出来、また今年には島内初の葬祭ホールも開設されるという。伝統的な葬送の文化が損なわれていくことが十分考えられるが、これから手法が決して「簡略・粗雑」なものにしてしまってはいけないと思う。

日本葬祭アカデミー教務研究室
平成22年4月月取材

ワントピント お葬式実務11

お葬式と保険

最近は少子・高齢化が進んできていることに伴い、世帯によってはお葬式の費用を支払えない人が増えてきています。また会葬者が少なくなっている香典でまかないきれない場合もあります。

逝去場所が自宅ではなく病院となれば、そこで治療費の負担も大きくなっています。高齢社会では喪主自身も年金生活というケースが多く、葬祭に適した「保険」活用を考えておくべきかもしれません。通常は「生命保険」ですが、この中に葬儀保険や医療保険といった名称のものもあります。なるべく加入条件(年齢や健康状態など)の広いもの、また無理のない掛け金であること、支払いなどの条件(年々の申告や猶予期間など)を十分わかりやすい説明を受けて、自分の世帯にあったものを選ぶ必要があります。葬儀だけを考えれば、普通の家庭では200万円くらいの死亡保険金を目安にされると良いでしょう。

のりおの ひと言



局地的な被害がいろいろありました。不順な梅雨も明けて、今度は猛暑の様相です。

みなさんがいかがお過ごしですか。この夏号の発行も少し遅れてしましました。例年になく葬祭の受注件数も増えまして、高齢社会への反映だけではなく、天候や季節の影響もあるのかもしれません。

ともあれ、8月はいろいろな仏事が日常の生活行事として営まれる季節でもあります。少しお知らせしますと、…

◆みかも山の大文字焼き

8月15日午後7時～点火。佐野工業団地会館前。5時半より子供たちに振る舞いがあります。また式典としては午後6時30分～泰正流横笛会・かぐら囃子と八木節午後6時～などが催されます。



どちらも故人やご先祖様に対する「みたま」の行事です。私たちの地元にもこんなに手厚く供養の祭りが季節行事として毎年なされています。是非、その風情や情緒を楽しんで頂き、同時にしみじみと亡き人を思い浮かべてみて下さい。この季節には、日本人のこころが感じられますね。

佐野市仏教会による3,000個の

◆灯籠流しと花火祭り

8月18日(水)午後6時～午後9時。秋山川河川敷(県南工業指導所西側)露店などで賑わいます。



「栃木県では第1号の葬祭情報管理適格事業所」・P·I·P認証
(内閣府認定NPO日本葬祭情報管理協議会が認定)

葬祭にかかる個人情報を守ります。
安心の事前相談・打合せ・事後対応を
認定されています。

